

平成 30 年度 第 1 回三条市地域公共交通協議会議事録

- 1 開催日時 平成 30 年 5 月 28 日（月）午後 2 時～午後 2 時 57 分
- 2 場 所 三条市役所三条庁舎 4 階 全員協議会室
- 3 出席委員 松本昌二副会長、吉原康幸、高澤由樹（古田哲代理）、吉澤覚、五十嵐知巳（外川忠利代理）、太田峰誉（笹川浩志代理）、浅野吉信（中山真代理）、富澤保和（大平健二代理）、五十嵐七男夫、佐藤信雄、渡邊敏郎、井藤太亮、福間和治（齋藤光雄代理）、杉本俊哉、元川由郎、佐々健、佐藤洋一、佐々木弘一（渡辺定一代理）、佐藤春男、近藤晴美、長谷川正実、栗山貴行（以上 22 名）
（欠席委員 國定勇人会長、石塚毅、高橋清吉、関谷浩）
- 4 市出席者 事務局 渡辺事務局長（理事兼市民部長）、永井次長（環境課長）、五十嵐次長補佐（環境課長補佐）、長田（生活安全・交通係長）、山田（主事）
- 5 傍聴者 北陸信越運輸局交通政策部交通企画課 松井裕美、新潟県交通政策局交通政策課 石井優紀、エヌシーイー株式会社 南 亮太郎
- 6 会議概要
 - (1) 開 会
 - (2) 議 事
 - ア 報告
 - (ア) 公共交通利用状況について
事務局から資料No.1により報告後、質疑に入る。
松本副会長：循環バス南コースについて、どのような目的で利用されている方が多いか分析はしているか。
事務局：病院や駅等への移動が多いものと捉えている。
松本副会長：地域公共交通網形成計画の策定に当たり、乗降調査を実施してはどうか。
事務局：循環バスの乗降調査は実施しており、その結果を計画に反映するよう努めたい。
井藤委員：須頃線の利用実績について、2月に利用者が20人おり、気候が良くなって利用が増えると想定される3月には利用者が減少している。原因分析は行っているか。
事務局：2月は大雪の影響で他の公共交通機関が麻痺したことから、須頃線の利用が増えたのではないかと捉えている。
佐藤(春)委員：井栗地区コミュニティバスの考察について、同地区の運行を他地域で実施することも検討とあるが、どういうことか。
事務局：下田地域は市街地の病院に出てくるまで時間がかかり、いわゆる交通弱者が多いことから、住民のニーズに合わせて移

動できる方法としてコミュニティバスが検討できないかと考えている。

佐藤(洋) 委員：栄地域でも交通弱者はおり、買い物や病院にデマンド交通を使っているのが現状であるが、コミュニティバスを導入する予定はないのか。

事務局：地域のニーズを勘案し、要望があれば前向きに検討したい。

- (イ) 三条市デマンド交通ひめさゆり停留所の新設・移設等について
事務局から資料No.2により報告後、質疑（質疑なし）

イ 議題

- (ア) 平成29年度三条市地域公共交通協議会歳入歳出決算について
事務局から資料No.3による説明後、質疑（質疑なし）
続いて議長から諮り、全員異議なく承認

- (イ) 平成30年度三条市地域公共交通協議会歳入歳出予算（案）について
事務局から資料No.4による説明後、質疑

佐藤(春) 委員：三条市負担金が約1,800万円増となっているが、平成30年度に限り増加するのか、その後も恒常的に増加するのか。

事務局：お示した金額は平成30年度の予算であり、その後については、策定を進めている三条市地域公共交通網形成計画の内容等も踏まえて検討する。

佐藤(春) 委員：来年度の予算の見通しはどうか。

事務局：先ほどお答えしたように、今後の予算については、三条市地域公共交通網形成計画の内容等も踏まえて検討するが、増額となった要因の1つに、本年6月から開始するデマンド交通全日運行の実施が挙げられ、次年度以降も同程度の額で推移するものと思われる。

続いて議長から諮り、全員異議なく承認

- (ウ) 循環バスぐるっとさん（南コース）の経路変更について
事務局から資料No.5による説明後、質疑（質疑なし）
続いて議長から諮り、全員異議なく承認

ウ その他

松本副会長：三条市地域公共交通網形成計画の策定状況について口頭で報告してほしい。

事務局：無作為抽出した15歳以上の市民、市内4つの高校の全校生徒等を対象にアンケートを実施するとともに、計画本文の執筆作業を進めている。できれば6月中に協議会でお示しし、遅くとも8月末には策定するスケジュールで進めていく。

ウ 事務連絡

事務局長：デマンド交通について、6月1日から全日運行を開始すること

としており、おでかけパス事業と相まって外出促進に寄与するものと期待している。

三条市地域公共交通網形成計画について、現在、最終調整を進めており、できるだけ早めにお示しして委員の皆様の御意見を賜りたい。

(3) 閉 会